

オーケストラ・コンサート情報満載!

38 ORCHESTRAS

日本オーケストラ連盟ニュース

加盟オーケストラ コンサート情報 2023年4月~7月

~コンサート津々浦々~



Vol.110

2023年4~7月

レポート

明日を担う音楽家たち2023

~新進芸術家海外研修制度の成果~



Contents

明日を担う音楽家たち2023	2
三井 静 袴田 美帆 長 哲也 大崎 由真	
地域に芸術が根ざすということ ~アートキャラバン事業を通じて見えてきたもの~	4
【新聞記者の目】	
「地方オーケストラの在り方」~山形の場合~ —伊藤 律子	5
英国オーケストラ連盟年次総会から	6
News&Topics	8
リレーエッセイ	9
コンサート津々浦々	10
インフォメーション	20

明日を担う音楽家たち2023

～新進芸術家海外研修制度の成果～

2月8日(水) 東京オペラシティコンサートホール 主催 文化庁、公益社団法人日本オーケストラ連盟

取材・文＝長谷川 京介(音楽評論家) 写真＝藤本 史昭

文化庁は昭和42年から若手の芸術家を海外に派遣する「新進芸術家海外研修制度」(旧芸術家在外研修制度)を実施しており、これまで約3,700名を超える芸術家、研究者が研修を受けた。音楽分野では約1,150名がイタリア、ドイツ、フランス、オーストリアなどで学んだ。過去の研修生としては指揮の大野和士、飯森範親、下野竜也、ヴァイオリンの諏訪内晶子、テノールの福井敬、ソプラノの森麻季、ピアノの萩原麻未など、日本を代表するアーティストが並ぶ。

その研修の成果を披露するコンサート「明日を担う音楽家たち」が2月8日水曜日、東京オペラシティコンサートホールで開催された。今年は平成30年度から令和3年度までの研修員4人が登場し、自分たちが選曲した協奏曲を演奏した。オーケストラは新日本フィルハーモニー交響楽団(コンサートマスター崔文洙)、指揮はセントラル愛知交響楽団常任指揮者および仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を務める期待の俊英、角田鋼亮。司会は田添菜穂子が担当した。

最初は、平成30年度の研修員三井静(みつい しずか)が、ハイドン「チェロ協奏曲第2番ニ長調」を披露した。三井は桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経て、ザルツブルク・

モーツァルテウム大学、ウィーン市立音楽芸術大学で学ぶ。第80回日本音楽コンクール、エンリコ・マイナルディコンクール第1位など国内外のコンクールに入賞し、現在はミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団のチェロ奏者として活躍している。

三井は、モーツァルテウム大学で、クレメンス・ハーゲン教授のもとで学んだ。理由は「ハーゲン弦楽四重奏団のチェリストのハーゲンの下で勉強したかった。ドイツ語圏の空気を感じたかったから」とのこと。今後の抱負は「音楽が持つ人間的な深みも伝えられる演奏家になりたい」と語る。作品について、「ハイドンは好きな作曲家。古典らしいリリカルさとチェロの明るく澄んだ高音のコンビネーションが魅力」と言う。

演奏について

角田&新日本フィルの柔らかな響きをバックに、三井は古典様式にのっとった品格のある演奏を展開した。第1楽章は木が香るようにフレッシュで温かな音で主題を弾き、細やかに装飾を加えていく。高音は洗練された美しさがあり、重音もきれいに響く。第2楽章アダージョは繊細で、主題を息長く歌い上げた。第3楽章は伸びやかに丁寧に弾いていく。チェロの技巧的なエピソードも安定している。短いカ

デンツァの後、チェロの快活な動きとともに鮮やかに締めくくった。

続いて、令和3年度の研修員、袴田美帆(はかまだ みほ)がトマジ「サクソフォン協奏曲」を演奏した。袴田は神戸大学国際文化学部在学中、パリ第7大学人文芸術学部へ1年間の交換留学、同時にノリ地方音楽院に入学し、ルマリエ・千春に師事。その後パリ国立高等音楽院サクソフォン科に入学し、クロード・ドゥラング教授に学んだ。第8回ナント国際サクソフォンコンクール第1位ほか国際コンクールに入賞。現在パリ国立高等音楽院室内楽科、即興科に在籍、イタリア・レッチェ音楽院の講師アシスタントとして研修中。

パリを選んだ理由と今後の抱負について「芸術の都パリへの憧れがあった。神戸大学でアートマネジメントを学んだ経験を芸術と社会を繋げる活動に生かしたい」と語り、曲については、「オーケストレーションが美しく迫力があり、幻想的で物語のような作品」と言う。

演奏について

袴田は、フランス音楽にふさわしい明るく華やかなサクソフォンを披露した。第1楽章はアンダンテの主題を滑らかに歌う。アレグロでは4分の5拍子のリズムに乗せ、闊達に演奏。

チェロ 三井 静



ハイドン：
チェロ協奏曲第2番ニ長調

サクソフォン 袴田 美帆



トマジ：
サクソフォン協奏曲

ミステリオソでのカデンツァが幻想的だった。第2楽章は活発に動くオーケストラをバックに、乗りの良い演奏を繰り返していく。最後はオーケストラとともに加速しながら、極彩色の壮大なクライマックスを築いて演奏を終えた。

後半最初は、令和元年度の研修員、長哲也(ちょう てつや)がヴィラ=ロボス「7つの音のシランダ〜ファゴットと弦楽合奏のための〜」を演奏した。長は東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後、リヨン国立高等音楽院大学院修了。第30回日本管打楽器コンクールファゴット部門第2位。藝大卒業と同時に東京都交響楽団の首席ファゴット奏者に就任した。

長はリヨン国立高等音楽院大学院で、カルロ・コロポ教授(リヨン国立オペラ管弦楽団首席ファゴット奏者)に学んだ。海外研修にチャレンジした理由を『オーケストラ奏者として新たな課題が見えてきたときコロポ先生と出会い、音楽性、人柄に感銘を受け、留学を決意した』と語る。

曲については、『フランスに関わりのある作曲家の作品を選んだ。ブラジルからフランスに渡ったヴィラ=ロボスの姿が自分と重なる』と話す。

演奏について

シランダは輪になって踊るブラジルの伝統音楽。ドレミファソラシの7つの音で始まる約9分の短い作品。

前奏に続き、長がまろやかに7つの音の主題を吹く。3連符4連符もスムーズ。ピウ・モツでは懐かしさを感じる旋律を柔らかく吹く。ワルツでは滑らかに歌った。コントラバスの上で吹くミステリアスな旋律は味わいがあった。ヴァイオリンとファゴットが絡み合いながら進行する部分は抒情味が豊か。最後は7つの音階を



管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団 指揮：角田鋼亮

静かに吹き、終止音トを長く伸ばして終えた。ファゴットの多彩な表情を生かした若々しい演奏が爽やかだった。

コンサートの最後は、令和2年度の研修員大崎由貴(おおさき ゆき)がラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番ハ短調」を弾いた。大崎は東京藝術大学音楽学部をアカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を受賞し卒業、第18回東京音楽コンクール第2位(最高位)、ポゴレリチが審査員長の第4回マンハッタン国際音楽コンクール特別金賞など、国内外のコンクールに入賞。現在東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校で非常勤講師を務めている。

大崎はザルツブルク・モーツァルテウム大学で、ジャック・ルヴィエ教授に学んだ。その理由と今後について『修正しきれずにいた課題をルヴィエ先生が一瞬で見抜き、求めた方向へ導いて下さり留学への心が決った。今後は様々な出会いや経験で得たことを音として表現できる音楽家になりたい』と語る。

ラフマニノフを選んだのは『感動的な名曲を自分らしく表現し、お客様と一緒に楽しみたい。

ラフマニノフ生誕150周年をお祝いしたかった』と話す。

演奏について

第1楽章冒頭の和音が豊かに鳴り響く。第2主題は優しく歌う。再現部の夢見るような表情がロマンティック。第2楽章中間部から後半にかけては特に素晴らしく、輝きのある音色、繊細な表情と歌心で、ラフマニノフの旋律美、ハーモニー、抒情性を見事に表現した。第3楽章の第2主題の壮大な再現でも管弦楽に埋もれることなく、スケールの大きな演奏を展開した。速度を増してコーダに突入し、オーケストラと一体となり、雄大に演奏を終えた。

コンサートを通して、協奏曲の指揮に定評のある角田鋼亮と新日本フィルの温かく丁寧な演奏が光っていた。ソリスト達にとって頼もしい存在だったに違いない。

最後に司会の田添菜穂子が出演者全員を舞台に呼び寄せると、会場を埋めた聴衆から、盛大な拍手が送られた。これからの彼らのますますの活躍を祈るとともに、ステージでの演奏に触れる機会を楽しみに待ちたい。

ファゴット 長哲也



ヴィラ=ロボス：
7つの音のシランダ
〜ファゴットと弦楽合奏のための〜

ピアノ 大崎由貴



ラフマニノフ：
ピアノ協奏曲第2番ハ短調

地域に芸術が根ざすということ

～アートキャラバン事業を通じて見えてきたもの～

日本オーケストラ連盟 竹内 淳

新型コロナウイルス感染症の存在が確認されてから丸3年が経った。この間、人の移動は制約を受け、イベントの開催も不自由な状態が続いていた。

ここに来て、ようやく出口が見えてきた感があるが、コロナ禍で受けたダメージが回復するには、もう少し時間がかかるのかもしれない。

1 劇場が元気な時代

古い話になるが、1970年代から2000年の初めごろの間、「文化庁移動芸術祭」という事業が行われていた。これは都市部で活発に開催されている舞台芸術作品を地方でも上演するというもので、地方公演を行いたい芸術団体と、芸術団体を呼びたい劇場を国が結び付けて公演を実現する形をとっていた。

地域の劇場は一定の割合で国の支援を受けて舞台芸術作品の上演を「主催」することができ、芸術団体にとっては経済的負担なく地方に出てゆく貴重な機会となっていた。

チケットは地域の書店やレコード店などで購入でき、駅前の商店街のあちこちに公演の「ポスター」が貼ってあった。事前に開催する劇場を訪問してみると、選挙カーさながらに大きな看板を括り付けたホールや自治体の広報車が町中を移動して、派手にチケット販売を宣伝している場面に会うことも多かった。

国の支援のある移動芸術祭だけでなく、中小都市の劇場は街の規模によって数の差こそあれ、主催公演を打つ余裕があった。

2 アートキャラバン事業に寄せる期待

移動芸術祭は残念ながら現在は行われていない。地域の劇場は予算の縮小から、自主事業の数が極端に減ってしまうか、あるいは自主事業そのものが行われなくなった劇場もある。

ことにオーケストラのような、ある程度の経費が必要な事業を自主公演で手掛ける劇場は減っている。

そのようななかで、アートキャラバン事業を通じて、当連盟の加盟オーケストラも、中小都市の劇場に出かけていくことができた。

アートキャラバンを手掛けるオーケストラは、開催する劇場もチケット販売や広報に協力し、ただ単に「貸館」の公演とならないよう働きか

けることを心がけた。

しかしその中で浮き彫りになったのは、公演の開催に求められるノウハウを持たなくなってしまった劇場が少なくないということだった。

劇場が主催する事業のチケットは扱えるが、貸館公演のチケットは自治体との契約上扱ってはいけないことになっている「指定管理者」もあるという。

さらに、そもそも職員の数が限られていて、貸館公演の業務にまで時間を割くことができないということもある。

一方で、全国にはハード的にはオーケストラ公演に理想的な素晴らしい劇場も存在する。

私は東北地方のあるホールをアートキャラバン事業で訪ねた。そこは県の中心部からは車で1時間、鉄道では1時間以上離れた場所にある、おとしオープンしたばかりの新しい劇場で、美しい外観、広々とした明るいロビー、広い舞台をもつ、たいへん「おしゃれ」な建物である。

この劇場をオーケストラキャラバンで訪れたオーケストラの担当者によると、チケット販売のために市内のあらゆる組織に声をかけたとのこと。教育委員会、市内のアマチュア・オーケストラはもとより、思いつくあらゆるルートを探ったそうだ。

公演は残念ながら満員とまではいかなかったが、いわゆる「ぱっと見入っている」(＝結構たくさん観客が来ている)状態だったと思う。

ホールの支配人にお話を伺ったが「とにかくいまはなんとかオープンにこぎつけて、ようやく1年間経ったという状態。なにもかも手探りだった。やらなければならないことはたくさんあって、ホールに人を集めて今日のような素晴らしい公演を自分たちが行うのはこれから。」と話していた。

たしかに新しい劇場に人の流れができるまでは、それなりの時間がかかる。また劇場運営に携わる人たちのエネルギーも必要だ。

しかし、私が肌で感じたここでのオーケストラ公演の聴衆の熱心な姿を見ると、地道に公演を提供し続けていくことができれば、聴衆は少しずつでも着実に増えていくのではないかと思う。

3 聴衆のニーズ

もうひとつ私がアートキャラバンで訪れたホー

ルは都内から1時間ほど電車に乗った距離にあり、年間の自主事業の数も少なくない。

アートキャラバンのオーケストラ公演は、公演数日前に完売となった。

ホールの事業担当の方にお話を伺ったが、予算の面で苦労されていることがうかがえた。「限られた予算を効率的に生かすには、クラシックではリサイタルや室内楽が中心となり、オーケストラはとて呼べない。しかし、公演前から市民からは期待の声が寄せられ完売となった。多くの市民が満足した表情でホールを後にする姿を見ると、オーケストラ公演を開催できる予算を市に確保してもらうよう働きかけなければいけない気がする。」と語っていた。

アートキャラバンの生んだ効果はこの点なのかもしれない。

久しくオーケストラ公演を手掛けていなかった劇場が、オーケストラ公演を開催したことによって、聴衆が求めているものに改めて気づかされること。そして1回限りではなく、それが継続して行われることによって、徐々にその地域に市民が芸術に触れるという行動が醸成されること。

これこそが、実演芸術を地域に根付かせるということにつながってゆくのだと思う。

コロナ禍によって生まれたアートキャラバン事業は、時限的な性格の事業ではあるが、2023年度は実施することになった。少しでも多くの劇場が、市民の実演芸術に対するニーズを感じ取っていただければと思う。



数多くの公演を手掛けるホールは、ロビーでの広報展開も充実し華やかな印象を受ける。

「地方オーケストラの在り方」 ～山形の場合～

山形新聞社編集局報道部 伊藤 律子

東北初のプロオーケストラとして1972(昭和47)年に誕生した山形交響楽団が昨年、創立50周年の節目を迎えた。これに合わせ、創設からの歩みを振り返る「山響クロニクル～50年の軌跡」を山形新聞紙上で30回にわたって連載した。紆余曲折あったその道のりと向き合うことは、プロ楽団が人口約25万人の地方都市で半世紀以上もの間存在し続けた「奇跡」と、地方都市のあり方を改めて考える機会となった。

始まりは「東北にプロオーケストラをつくらう」という一人の指揮者の熱い思いだった。その根底には、今年90歳を迎えた創立名誉指揮者・村川千秋さんの「子どもたちに本物の音楽を届けたい」という純粋な願いがある。

村川さん自身、高校生の時に初めて聴いた生のオーケストラの音色に心を動かされ、音楽の道を志した。一方で、地方にいて本物の音楽に触れる機会の少なさも実感していた。進学した東京芸大でもまざまざと見せつけられた首都圏と地方の格差。留学した米国では、どんなに小さな街にもオーケストラがあることに衝撃を受けたという。こうした経験から「地方にこそオーケストラが必要」との思いを強くした村川さん。その熱意に共感した人々の努力によって山響はできた。

この原点を体現した活動が、設立当初から続くスクールコンサートだ。フルオーケストラが学校などに出向いて、生演奏を聴かせる。これまで延べ300万人を超える子どもたちに音楽を届け、今では3世代にわたって体験したという家庭も少なくない。県民なら一度は子どもの



設立当初から続くスクールコンサート＝1973年
(山形交響楽協会提供)

頃に山響の演奏を聴いたことがあるだろう。山響が県民に愛されるゆえんでもある。こうした貴重な体験ができるのもプロ楽団が身近にあるからこそで、山形の文化的土壌を築いてきたといっても過言ではない。山響が山形にあることの大きな意味がここにある。

50年の過程には幾多の困難もあった。財政的な問題は幾度も訪れ、楽団員や事務局員が一気に辞めるという存続の危機も。一つ大きな岐路となったのが、85年、文化庁の助成基準の団員数を満たせず、補助金断念を選んだことだったかもしれない。隣県の宮城フィルハーモニー管弦楽団(現仙台フィル)と一つになる可能性もあったが、山響は小さくても山形で地道に活動を続ける道を選択した。

山響存続の危機に、いち早く動いたのは市民だった。「文化の灯を消すまい」と有志が「楽器をおくる会」を設立し、募金活動を展開。多くの市民が趣旨に賛同、山響を核にした市民運動が実を結んだ。さらには企業や自治体も支援に動いた。くしくも危機が山響と県民との結びつきを強くしたのだ。文化とはそこに暮らす人たちが関わり、育て、支えてこそ成り立ち、根付くもの。そんなことを実感させる象徴的な出来事である。

さらに、この選択は後にもう一つの価値をもたらした。少人数による編成を逆手にとり、古楽スタイルの演奏を極めるという取り組みだ。それは2004年に常任指揮者に就いた飯森範親さん(現桂冠指揮者)によって花開いた。8年かけてモーツァルトの交響曲全曲を演奏した「アマデウスへの旅」は、古楽器を取り入れ、18世紀当時の音にこだわった画期的なシリーズだった。演奏はCD化され、2017年度のレコード・アカデミー賞特別賞(企画・制作)に選ばれた。10年からは古楽のスペシャリストである鈴木秀美さんを定期的に招くなど、山響は古楽演奏と機動力のあるアンサンブルを極め続けている。少人数を個性とし、強みとして磨き上げていく。これからの地方にとっても



創立50周年の幕開けとなった第300回定期演奏会。
創立名誉指揮者・村川千秋さんと常任指揮者・阪哲朗さんが
固く握手を交わした＝2022年4月

大事な視点である。そして今、常任指揮者阪哲朗さんの下、オペラという新たな個性も築こうとしている。

新型コロナ禍でも、山響はその存在意義と音楽の底力を見せつけた。全国的にみても早い時期に無観客公演のライブ配信を実施。苦しい中でも「音楽を届ける」という役割を果たし続けた。20年7月、約100日ぶりに観客を前にした公演では、音楽を待ち望んだ市民の熱量を体感した。鳴りやまない拍手に、一度下がった楽団員がステージに呼び戻されるという見たことのない光景。「音楽とは人の心を結びつけるもの」だということを再認識させられた。

山形市の後押しもあって県民や全国からは約7千万円にも上る、多くの支援も寄せられた。そこには山響への期待と「音楽の灯を消してはならない」という思いが込められていた。楽団はこれに応えるように、新たに見いだした配信という可能性を活用し、演奏とともに山形の魅力を発信する事業を展開。地域に根差した楽団のあり方が見えた気がした。

深刻な少子化が進む地方では、楽団運営の厳しさも増している。実際、スクールコンサートは「やればやるほど赤字」の状況だ。それでも続けるのは「山響の魂を失うことになるから。子どもたちに音楽を届けることが文化の裾野を広げることになる」と西浜秀樹専務理事は語る。

地方楽団とは、その地域といわば運命共同体である。子どもたちの文化的素養を育むのは、いち楽団だけでなく地域全体で支え持続させていくべきことだ。そうして育んだ文化が地域の強みとなり、次代につながっていくのではないかと。地域に根差した地方紙としても長年バックアップを続け、紙面では定期演奏会の評などを欠かさず紹介している。発信を通して、「音楽が県民の誇りになるように」(村川さん)、ともに文化を育てていきたい。

英国オーケストラ連盟 年次総会から

セントラル愛知交響楽団 演奏事業マネージャー
沖汐 明日香



英国オーケストラ連盟(ABO)による年次総会が2月1日～3日、イングランド北部の街リーズで開催された。同市に活動拠点を置くオペラ・ノースがホストとなり、オーケストラ関係団体(65)、会場関係(16)、教育機関(12)、公的機関(8)、メディア&出版(7)、音楽事務所(5)、チャリティ団体(5)、その他も含め総勢374人が現地とオンラインで参加した(括弧内は団体数)。

昨年は「Rebound」(再起)をテーマに平等性、多様性と社会包摂に焦点が当てられた(詳細は日本オーケストラ連盟ニュース Vol.107を参照)。今年掲げられたテーマは「United」で、まさに文字通り、英国にとっての2022年は音楽領域を飛び越えたエキスパートらが専門分野を横断して団結した年であり、オーケストラの新たな可能性を切り拓かんとする共同プロジェクトの実施報告や、オーケストラが活用できるビジネス戦略などが語られた。

オーケストラと専門家とのコラボレート

オーケストラと専門家が共同で行ったプロジェクトとして、マンチェスター・カメラータとBBCフィルハーモニックの2例が取り



会場となったワード・アセンブリー・ルーム。
ベルガウアー氏の公式 Twitter より

上げられた。

マンチェスター・カメラータの例では、対面の生演奏と録音のデジタルを体験することにどんな違いがあるのか、それを査定することはできるのかを実験するため、音楽心理学の専門家と一緒に国立の研究センターより助成プログラムを勝ち取って実施したことが報告された。実験では脳が録音よりも生演奏を積極的に聴いていることが世界で初めて数値レベルで証明された。

BBC フィルハーモニックの例では、BBC ラジオ3と英国芸術・人文リサーチカウンシル(AHRC)の音楽学者による新レポーター発掘プロジェクトが報告された。演奏会で演奏されたことの無い作曲家の作品を取り上げるもので、2022年は3作品の初演が実現。クラシック音楽の領域を広げ、幅広い聴衆から共感を得ることを目的にインクルージョンの一環として行われている。

来場者数減少、資金不足、存在価値の低下に対して

既存ビジネスを参考に文化芸術組織に必要な経営戦略を追求しようと呼びかけたのが、元カリフォルニア交響楽団専務取締役で組織運営に悩む文化団体への提言を行っているオードリー・ベルガウアー氏。「営利追求に抵抗を感じるかもしれないが、2019年時点で英国音楽業界は58億ポンド(約9,500億円)も経済に貢献しており、芸術は立派なビジネス。顧客満足度の高い公演を提供し続けるための資金獲得が大事だ」と語った。オーケストラ業界が抱

える問題として、来場者数減少速度の加速化と資金不足、顧客に提供する価値の低下が挙げられ、その原因として消費者行動に変化が起きているほか、業界特有の思考傾向として物事を勝ち負けで判断しがちなステアシティマインドセットと、業界内外の有用なデータを十分に活用しきれていない“島国的思考”の指摘があった。顧客を定着させ十分な収益を得るための戦略としてベルガウアー氏が取り上げたのが、ユーザー体験、デジタルコンテンツ、アドボカシーの3分野である。

ユーザー体験 ～“氷山の一角”を水面下に追いやらない～

オーケストラに関わりを持った“水面上”の顧客が水面下に行く率は、1回券購入者の90%、寄付者の80%、定期会員の50%である。言語教育アプリ「デュオリンゴ」も同様で、ユーザー数は5億人いるが実際の水面上ユーザーは4,000万人で全体の8%である。

ユーザー体験調査から不満要素として「圧倒された感覚」「過度なアップセル」「マイルドな羞恥心」が判明しており、ベルガウアー氏がカリフォルニア響時代に行ったユーザー体験調査の結果と酷似していることに着目した。「圧倒された感覚」は「音楽用語が分かりづらい」、「過度なアップセル」は「執拗な勧誘」、「マイルドな羞恥心」は「拍手のタイミングを間違え指摘された」などである。デュオリンゴとカリフォルニア響はマインドセットとデータの活用を実践し、ユーザー体験の向上を優先したことにより、水面上の顧客定着率

を30%にまで向上させた。

デジタルコンテンツ

～着地点はアナログの購買行動～

デジタル体験が顧客の購買行動を促している例として、米国で急成長しているサブスク型オンラインフィットネスサービス「ペロトン」が挙げられた。インストラクターの発信力を利用して会員数を増やし、入会当初はマシンを所有していないユーザーがその後商品を購入しているケースが多い。デジタルの着地点はアナログの購買行動である。

アドボカシー ～価値観を行動に～

アドボカシーとは組織が自らの価値観に基づいて起こす行動のことで、「ユニリーバ」が持続可能な生活を支持しているのがその例である。「営利・非営利関係なくアドボカシーは組織の原動力。そして芸術は社会をより良くするための原動力。戦略を取り入れる目的は資金を確保するた

めだけでなく、最終的に我々の活動と価値に賛同してくれる人々を繋ぐこと。我々にはその実現に必要なベース（市場規模）が既に整っている」。

Trial and Error to Advance — 前進のための試行錯誤

新しい試みへの挑戦に大事なのは、リスクや失敗を恐れず行動を起こすこと。人々の行動に変化をもたらすという意識を絶やさないこと。我々オーケストラが大事にしたい価値観を認識し、外部へ発信すること。そのために別のプロフェッショナルたちとの共同作業もあれば別組織からの学びもある。一步を踏み出すための勇気が欲しいと不安になるかもしれないが、我々には行動を起こすための必要なベースが既に備わっている。そのベースをどう活かすかがこれからの前進にかかっているのだし、動かなければ何も始まらない。

講演者の共通した主張に“データ分析の重要性”があったことは興味深い。音楽

を通じて社会をより良くしたい。その実現のためには今まで見えてこなかった現実と向き合うことが大事であり、より現実を知るためにオーケストラ業界内外での「団結」が必要なのだということが本総会のメッセージだった。



総会の様子。インディペンデント・ソサエティ・オブ・ミュージシャンの公式 Twitter より

STREAM ON YOUTUBE

ルソオ・サン・パドメ：ラヒフ・カユマフギ
エルガー：チェロ協奏曲
プロコフィエフ：バレエ組曲「ロメオとジュリエット」



中村透：かぎやで風
～琉球古典音楽、古典舞踊とオーケストラのための～
萩森英明：黄金の森で（沖縄本土復帰50周年に寄せて）
[琉球交響楽団委嘱新作]
チャイコフスキー：交響曲第5番

ヨハフ・シュトラウス2世：
喜歌劇「コロネリ」序曲
ブルック：ヴァイオリン協奏曲 第1番
ユン・イサン：交響曲第2番



ヨハフ・シュトラウス2世：
喜歌劇「コロネリ」序曲
ブルック：ヴァイオリン協奏曲 第1番
ユン・イサン：交響曲第2番



アジアの
オーケストラは
熱量がすごい！

曲目解説も
掲載中！



特設サイト

昨年10月に東京で開催し盛況だった、アジア オーケストラ ウィークを YouTubeにてダイジェスト配信中！ マニラ交響楽団（フィリピン）、琉球交響楽団（沖縄）、KBS交響楽団（韓国）の演奏をぜひお楽しみください。

令和4年度（第77回）文化庁芸術祭主催公演
アジア オーケストラ ウィーク2022



令和5年度文化庁予算

令和5年度の予算は令和4年度の第二次補正予算の決定後、12月2日に閣議決定され、その後2月28日に衆議院を通過、年度内の成立が確実にした。文化庁予算は前年度予算1,076億円と比べて僅か0.1%増の1,077億円となった。一方コロナ対策としての令和4年度補正予算には713億円が決定している。補正予算の規模が大きく、舞台芸術活動の現場はある意味において活発になっているが、本予算がここところ前年度プラス1億円程度の増加にとどまっていることは、来年度以降補正予算に期待できないものと考え、令和6年度以降の活動には大きな不安がある。令和5年度通常予算でオーケストラの活動に関係のある主な内容を見ると以下の通り。

令和5年度より、これまで「舞台芸術創造活性化事業」、「文化芸術による子供育成推進事業」、「国際交流芸術支援事業」、加えて今年度からの「キャラバン事業」などいくつかの分野に分散していたものが、今年度より「舞台芸術等総合支援事業」として一つにまとめられている。関連性も大きい事業がまとまることは全体を見渡す意味、または予算の流動性などから有益であると思われるが、逆に分野ごとの予算の決定・公表が遅れる傾向にあり、具体的な金額での昨年との比較は難しい。

1. 「我が国を代表する芸術団体等の支援」

文化庁の説明によれば前年度並みと変化はないとのこと。しかしながら複数年支援の団体数が74団体から70団体程度に減少し

ていること、公演事業支援の内容が明確でないこと、国からのもう一つの大きな支援である「芸術文化振興基金」からの助成が年々減額され、本年度から併願が出来ないため、本予算への希望が増えることなどを考えると楽観はできない状況にある。

この予算は我が国芸術団体の水準の向上と、より多くの国民に対する優れた舞台芸術機会の提供を図るためのものとして、オーケストラの定期演奏会を中心とする、芸術的価値の高い演奏会に助成しているもの。芸術団体であるオーケストラにとっては極めて意味のある重要な予算であることは変わらない。具体的な数字の変化には注視していきたい。実演団体ではないがこれまでは「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の中にあつた、「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」も本予算の中に含まれており、対象となる劇場の支援件数などが減少している事など、具体的な支援内容の発表までは予断を許さない状況にある。

2. 「学校巡回公演」

従来の「文化芸術による子供育成推進事業」はその形は残しているが、その中に含まれていた「巡回公演」部分のみが「舞台芸術等総合支援事業」に移行している。前年度予算は「巡回公演事業」として1,950校とされていたものが1,870校に減少している。文化施設等活用事業などを増やし、芸術を鑑賞・体験する子供たちの数は増やしていくとのこと。

3. 「国際交流芸術支援事業」

(「舞台芸術等総合支援事業」に含まれる)
プロフェッショナルな芸術団体が行う、海外公演、そのほか海外からの招聘を伴うフェスティバルなどを対象としたもの。この3年間新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用が少なかったものと考えられ、予算の減少が見込まれる。

4. 「全国キャラバン事業」

(「舞台芸術等総合支援事業」に含まれる)
コロナ禍における2年間、補正予算として、芸術文化の鑑賞機会を失った国民にその機会を作り、また出演機会を失った芸術団体の水準を維持するために取り上げてこられた「アートキャラバン事業」がその効果が認められ、本予算においても計上されることとなった。概算要求時には1,850百万円規模の要求となっていたが、本予算では大きく削減されることとなった。

5 「障害者による文化芸術活動推進事業」

今年度と比べて約20百万円の増額。共生社会の実現のために障害者による文化芸術活動を支援するもの。劇団、障害者施設、劇場関係の団体が中心にこの助成を活用している。令和4年度は「日本オーケストラ連盟」加盟団体の実績はなかった。

「戦略的芸術文化創造推進事業」は令和4年度をもって終了となった。

令和5年度アフィニス文化財団の助成内容が決定

公益財団法人アフィニス文化財団(理事長 涌井洋治)は日本の音楽文化の発展を願い「アフィニス オーケストラ助成」として、日本国内のプロフェッショナル・オーケストラの主催による演奏会に支援している。この度2023年度の助成内容が発表された。

「音楽の担い手としてのプロ・オーケストラが主催するわが国ならびに各楽団が活動の重点を置いている地域にとって意義ある企画」への助成である「アフィニス・エンブレム」には東京交響楽団(指揮:ジョナサン・ノット)によるR. シュトラウスの歌劇「エレクトラ」(演奏会形式)、大阪フィルハーモニー交響楽団(指揮:尾高忠明)による「メンデルスゾーンへの旅」(全4企画)、中部フィルハーモニー交響楽団の「北欧シリーズ」(全3企画)をはじめとする6団体が選ばれた。合計助成金額2,200万円。

「アフィニス・エンブレム」で申請された企画のうち、エンブレムに準じた企画として新たに設けられた「アフィニス・メダイユ」に群馬交響楽団によるメシアンのアラベスク(指揮:高関健)、ハインツ・ホリガー指揮による札幌交響楽団と名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会など9団体が選ばれ、合計助成額は900万円。

また、「楽団としての成長、発展を目指して企画される意欲的な企画」への助成である「アフィニス・エチケット」にはNHK交響楽団(指揮:ライアン・ウイグルワース)による「Music Tomorrow 2023」、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団の3つのオーケストラでそれぞれ開催されるR. シュトラウスの歌劇「サロメ」(演奏会形式、指揮:いづれも沼尻竜典)など15団体20プログラムが選ばれた。こちらの合計助成金額は1,000万円。

表彰・受賞

令和4年度(第7回)文化庁芸術祭音楽部門の大賞に読売日本交響楽団

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭の音楽部門大賞を、読売日本交響楽団が受賞した。受賞対象は、2022年10月25日(火)サントリーホールにて開催された、桂冠指揮者のシルヴァン・カンブルランと、ヴァイオリンの成田達輝、三味線の本條秀慈郎をソリストに迎えて開催した「第622回定期演奏会」。大賞の贈賞理由は「桂冠指揮者シルヴァン・カンブルランが登場した本



2022年10月25日(火)第622回定期演奏会

公演は、ドビュッシー2曲、巨大編成のヴァレーズ、10月に急逝した一柳慧の新作『ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲』と20世紀から今日までを繋ぐ意欲的な選曲が光った。厳格さと洗練を備えた指揮で、明晰かつ色彩感豊かな音楽を作り上げ、特にヴァレーズ『アルカナ』の多彩な音響を緻密にコントロールした演奏は圧巻であった。」としたもの。読響は過去の芸術祭において、昭和43年度に芸術祭賞（若杉弘指揮ペンデレツキ「ルカ受難曲」）、平成12年度に優秀賞（G・アルブレヒト指揮グルリット「ヴォツェック」）、平成20年度に優秀賞（下野竜也指揮ヒンデミット「前庭に最後のライラックが咲いたとき」）を受賞している。



桂冠指揮者 シルヴァン・カンブルラン

文化庁は参加公演・参加作品の募集および贈賞については、今年度（令和4年度）をもって終了とし、来年度（令和5年度）以降は、優れた芸術文化活動を行う個人を顕彰する制度をより充実させる方向で検討すると発表している。

第21回齋藤秀雄メモリアル基金賞にチェリストの上野通明さん、指揮者の沖澤のどかさん

第21回（2022年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞のチェロ部門の受賞者に上野通明さん、指揮部門に沖澤のどかさんが選ばれた。賞金は各500万円。本賞は故齋藤秀雄に因んで、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される、若手チェリスト、指揮者に授与される。上野さんは1995年パラグアイで生まれ、幼少期をスペインのバルセロナで過ごす。桐朋学園大学ソリストディプロマコース全額免除特待生として毛利伯郎に師事。2015年渡独、デュッセルドルフ音楽大学ドイツ国家演奏家資格を満場一致の最高点で取得、2021年からはベルギーのエリザベート音楽院にも在籍。さらなる研修を積みながら、主にヨーロッパと日本で演奏活動を

行っている。2021年ジュネーブ国際コンクール・チェロ部門で優勝。沖澤のどかさんは1987年青森生まれ。東京藝術大学では高関健と尾高忠明に師事、大学院終了後、2019年にはハンス・アイスラー音楽大学ベルリンで修士号を取得。2018年に東京国際音楽コンクール〈指揮〉で、2019年にはプザンソン指揮者コンクールでいずれも1位に輝いた。2020年～2022年はベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のカラヤン・アカデミー奨学生となり、音楽監督のキリル・ペトレンコの助手を務めた。2023年4月より、京都市交響楽団の第14代常任指揮者に就任する。

第30回（2022年度）渡邊曉雄音楽基金音楽賞に太田 弦さん、特別賞に飯守泰次郎さん

第30回（2022年度）渡邊曉雄音楽基金音楽賞に太田 弦さん、特別賞に飯守泰次郎さんが選出された。渡邊曉雄音楽基金音楽賞・特別賞は次代の音楽界を担う優秀な指揮者、およびオーケストラ界に貢献した関係者に贈られるもの。

リレーエッセイ

オーケストラ連盟の黎明期をはじめ、創設にご尽力頂いた方々のエッセイをお届けしています。

日本オーケストラ連盟の今日

日本オーケストラ連盟・副理事長 金山 茂人

先日、日本オーケストラ連盟の事務局から一番古参と思われたのか、私に「今日までの同連盟の成り立ちについて」の問い合わせがあった。果たしてどこまで正しくお答え出来るか、亡くなった方や現在すでにリタイアした方も含めて甚だ不安だったが、これを機会に経緯を確認してみようと考えた。

戦後都内には幾つものプロの自主運営オーケストラが実在していた。私が東京交響楽団にヴァイオリン奏者として入団したのが昭和38年（1963）だった。現在もそうだがどのオーケストラもしのぎを削っていた。

その後1972年に私は大きな転機として事務局に入ったが、当時は東京フィル、日本フィル、東響、新星日本交響楽団、後に新日本フィルの5楽団が自主運営のオーケストラとして活動していた。しばらくして新星日響が東京フィルと合併し、結果4団体が結束した。東京フィルは松木章伍さんだったが、亡くなり後任に樽松三郎さん、日本フィル田

邊稔さん、新日本フィル松原千代繁さん、それに私と折にふれ何かと集まって相談した。いろいろ話し合っている内に都内だけでなく全てのオーケストラの問題ということがはっきりした。以前より「地方交響楽団連盟」というのがあり、そこも問題点を討議した。

その頃、私事ながら東京交響楽団がある外食産業から年間「億」単位の寄附を受けることになり、これがきっかけとなったのか各オーケストラにも個々に寄附されることが多くなった。日本経済もようやく文化に手を出すようになってきたようだ。

1990年、縁あって元大蔵省事務次官だった長岡實氏に理事長をお願いし、快く引き受けてくださり、日本オーケストラ連盟はスタートした。当時全国で18団体が加盟していたが、今日における38団体と較べると隔世の感がある。文化庁よりオーケストラ連盟の活動が認められたのか、1995年、正式に社団法人として認可され、その後公益社団

法人として今日に至っている。歴代の理事長は皆さん御自分がお辞めになる時は後任者を指名なさるが、長岡さんも児玉幸治さん（元通産省事務次官）を選んだ。その児玉さんも現在の佐藤隆文さん（元金融庁長官）を指名なさった。プロのオーケストラ38団体が力を合わせて佐藤理事長の日頃の号令を聞くにつれ、オーケストラ連盟の将来に限りない可能性を感じるのには私だけではない。

プロフィール
金山 茂人

（かなやま しげと）

1940年富山県生まれ。国立音楽大学卒業後、1963年東京交響楽団にヴァイオリン奏者として入団。1972年に事務局に移り、1976年代表就任、1980年より専務理事・楽団長を25年間にわたり勤めた。2005年最高顧問就任（現在に至る）、日本演奏連盟専務理事就任（現常任理事）。



コンサート津々浦々

加盟オーケストラの2023年2月時点での情報です。
今後の状況により変更を余儀なくされる場合もございますので、
コンサート実施の最新情報はそれぞれのオーケストラのホームページ等
ご確認くださいませようお願い申し上げます。



■ 正会員 ■ 準会員

札幌交響楽団

問合せ 011-520-1771

定期演奏会 会場/札幌コンサートホールKitara 開演/土曜17:00、日曜13:00

第652回 4月22日(土)、23日(日)

指揮:川瀬賢太郎(札幌正指揮者) ピアノ:オリムストーン
ムソルグスキー(ショスタコヴィチ編)「ホヴァンシチナ」前奏曲
プロコフィエフ/ピアノ協奏曲第3番 “モスクワ川の夜明け”
ラフマニノフ/交響曲第2番~ラフマニノフ生誕150年記念~



第653回 5月27日(土)、28日(日)

指揮:マティアス・パーメルト(札幌首席指揮者)
独唱:吉田珠代(ソプラノ)、甲斐栄次郎(バリトン)
合唱:札幌合唱団ほか
メンデルスゾーン/「真夏の夜の夢」序曲、夜想曲
ブラームス/ドイツ・レクイエム~ブラームス生誕190年記念~



第654回 6月24日(土)、25日(日)

指揮:広上淳一(札幌友情指揮者) ピアノ:反田恭平
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番~ラフマニノフ生誕150年記念~
ドビュッシー/イベリア(管弦楽のための「映像」より)
ラヴェル/スペイン狂詩曲



1回券...SS席7,000円/S席6,000円/A席5,000円/B席4,500円/C席3,500円/U25割(e,c)1,500円

hitaruシリーズ 定期演奏会 会場/札幌文化芸術劇場hitaru 開演/19:00

第13回 4月11日(火)

指揮:大植英次 ピアノ:アンドレイ・ガヴリーロフ
糀場富美子/広島レクイエム
ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番~ラフマニノフ生誕150年記念~
ショスタコヴィチ/交響曲第5番



1回券...S席6,000円/A席5,000円/B席3,500円/U25割(A,B)1,500円/プレミアム席(ローチェ限定販売)8,000円

森の響フレンド名曲コンサート 会場/札幌コンサートホールKitara 開演/14:00

【ウィーンのヴァイオリンで聴くブラームスとJ. シュトラウスII】 6月17日(土)

コンサートマスターとヴァイオリン独奏:フォルクハルト・シュタイデ
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲~ブラームス生誕190年記念~
J. シュトラウスII/「くるまば草」序曲、ワルツ「もろびと手を取り」、
常動曲、入り江のワルツ、ポルカ「雷鳴と稲妻」



1回券...SS席5,000円/S席4,000円/A席3,000円/U25割(a)1,200円



詳細は札幌交響楽団公式HPをご覧ください。
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合がございます。
公演中止の場合を除き、チケット代金の払戻はいたしません。



www.sso.or.jp/

仙台フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 022-225-3934

定期演奏会 会場:日立システムズホール仙台・コンサートホール

金曜日 各日19時開演 土曜日 各日15時開演

【全席指定】 S席:¥5,100 S席ユース:¥2,000 A席:¥4,600 A席ユース:¥1,500 Z席:¥2,000 ※ユース:演奏会当日25歳未満の方が対象

第363回 5月26日(金)・27日(土)

指揮:小泉和裕
シューマン:交響曲第1番「春」
フランク:交響曲

第364回 6月16日(金)・17日(土)

指揮:高関 健
ピアノ:ルウオ・ジャチン ソプラノ:中江 早希
芥川也寸志:弦楽のための三楽章
サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第2番
マーラー:交響曲第4番

第365回 7月14日(金)・15日(土)

指揮:円光寺 雅彦
ピアノ:清水 和音
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番
チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」



お申込み・お問合せ: 仙台フィルサービス 022-225-3934 <https://www.sendaiphil.jp/>

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 03-3766-0876



親子のための
ふれあい
コンサート
2023

津軽三味線と
手拍子の
楽しい
音楽会

2023 3月18日(土)

TICKET

全席自由: 2,500円
当日: 3,000円

【窓口販売】

めぐろパーシモンホールチケットセンター
TEL 03-5701-2904 (10:00~19:00)

【WEB申込】Confetti カンフェティ

TEL 0120-240-540 (10:00~18:00)

<http://confetti-web.com/uniphil>



演奏
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
指揮: 稲田 康
ゲスト: 二代目三山 貴正 [津軽三味線]
地元協賛出演: 自由ヶ丘学園高等学校吹奏楽部



山響 2023 season "Dramatic" ~次の50年へ 扉を開く~

定期演奏会

[会場] 山形テルサ [開演] 土曜19:00/日曜15:00 [チケット料金] A席:4,800円 B席:4,300円 学生(B席):2,600円 Bペア:7,400円



山響公式 HP

山響 WEB チケット

第308回 4月15日(土)・16日(日)

指揮:広上 淳一 チェロ:矢口 里菜子 (山響首席奏者) 尾高 惇忠:「音の旅」(オーケストラ版/抜粋) ショスタコーヴィチ:チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 作品107 チャイコフスキー:交響曲 第4番 ヘ短調 作品36



第309回 5月13日(土)・14日(日)

指揮:阪 哲朗 フルート:ワルター・アウアー モーツァルト:アンダンテ ハ長調 K.315 ライネッケ:フルート協奏曲 二長調 作品283 ベートーヴェン:交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」 作品55



第310回 6月17日(土)・18日(日)

指揮&ホルン:ラデク・パボラーク ベートーヴェン:劇音楽「エグモント」 作品84 序曲 ロゼッティ:ホルン協奏曲 変ホ長調 C.49/K.III:36 ベートーヴェン:歌劇「フィデリオ」 作品72c 序曲 ドヴォルザーク:スラヴ舞曲集 第1集 作品46



(お問合せ・お申し込み) 山響チケットサービス TEL:023-616-6607 (平日:10:00~17:00)

群馬交響楽団

問合せ 027-322-4316

2023-24 定期演奏会 前期シーズン

定期演奏会チケット 各回共通1回券(全席指定) SS席:6,500円 S席:5,500円 A席:5,000円 B席:4,000円 C席:3,000円 ※東毛定期公演は別料金



2023年度 GTシンフォニック・コンサートvol.2 ザ・モーツァルト

7月29日(土) 14:00開演

高崎芸術劇場 大劇場

指揮/飯森範親 ヴァイオリン/アイルン・ブリッセン* フルート/上野由恵** ハープ/吉野直子** オール・モーツァルト・プログラム ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219 「トルコ風」* フルートとハープのための協奏曲 ハ長調 K.299(297c)** 交響曲 第41番 ハ長調 K.551「ジュピター」

チケット(全席指定) S席5,000円 A席4,000円 B席3,000円 [U-25] S席2,500円 A席2,000円 B席1,500円



群馬交響楽団 HP チケットオンライン



第587回 4月22日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場 常任指揮者就任披露演奏会 指揮/飯森範親 ヴァイオリン/三浦文彰* モーツァルト/交響曲 第1番 変ホ長調 K.16 ショスタコーヴィチ/ ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77* R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」 作品40, TrV190 [ヴァイオリン・ソロ/伊藤文乃(群響コンサートマスター)]

第589回 6月24日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場 指揮/秋山和慶 チェロ/上野通明* モーツァルト/交響曲 第31番 二長調 K.297「パリ」 フロ/チェロ協奏曲 二短調* ベルリオーズ/幻想交響曲 作品14



第588回 5月27日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場 指揮/高関 健 オンド・マルトノ/原田 節* ピアノ/児玉 桃* モーツァルト/交響曲 第32番 ト長調 K.318 メンアントゥーランガリラ交響曲*

第590回 7月22日(土) 16:00 高崎芸術劇場 大劇場 第53回東毛 7月23日(日) 15:00 太田市市民会館 指揮/角田鋼亮 ソプラノ/中江早希* コーダイ/ガランタ舞曲 モーツァルト/エクスタターテ・ユピラーテ (踊れ、喜べ、幸いなる魂よ)* マラー/交響曲 第4番 ト長調*



各コンサートの詳細・チケットについては群響HPをご覧ください。 http://www.gunkyo.com/ 群馬交響楽団事務局(平日10:00~18:00) 027-322-4944 (チケット専用電話)

NHK交響楽団

問合せ 03-5793-8161

2022-23シーズン定期公演 SPRING(2023年4月-6月)



Aプログラム

NHKホール

18:00 14:00

第1980回 | 4/15(土), 16(日) 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ R.シュトラウス/「ヨセフの伝説」から交響的断章 アルプス交響曲

第1983回 | 5/13(土), 14(日) 指揮:下野竜也 ヴァイオリン:バイバスクリデ* ラフマニノフ/歌曲集から グバイドゥーリナ/オッフエルトリウム* ドヴォルザーク/交響曲 第7番

第1986回 | 6/10(土), 11(日) 指揮:ジャンンドレア・ソセダ ピアノ:ペソド・アブドゥライモフ プロコフィエフ/交響組曲「3つのオレンジへの恋」 ピアノ協奏曲 第2番 カゼツラ/歌劇「蛇女」からの交響的断章



Bプログラム

サントリーホール

19:00 19:00

第1982回 | 4/26(水), 27(木) 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ ピアノ:マリー-アンジュ・グッチ* シベリウス/交響曲 第4番 ラフマニノフ/バガニエの主題による狂詩曲 チャイコフスキー/幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」

第1985回 | 5/24(水), 25(木) 指揮:ファビオル・イージ ホルン:福川伸陽 *ハイドゥン/交響曲 第82番「くま」 モーツァルト/ホルン協奏曲 第3番 ベートーヴェン/交響曲 第6番「田園」

第1988回 | 6/21(水), 22(木) 指揮:ジャンンドレア・ソセダ ヴァイオリン:庄司紗矢香* パツハ(レスピーギ編)/3つのコラール レスピーギ/グレゴリオ風協奏曲* ラフマニノフ/交響曲 第1番



Cプログラム

NHKホール

19:30 14:00

第1981回 | 4/21(金), 22(土) 指揮:パーヴォ・ヤルヴィ ルーセル/弦楽のためのシンフォニエッタ プーランク/シンフォニエッタ イペール/室内管弦楽のためのティヴェルトスマン

第1984回 | 5/19(金), 20(土) 指揮:ファビオル・イージ ピアノ:パスカル・ロジェ サン・サーンス/ピアノ協奏曲 第5番 「エジプト風」 フランク/交響曲

第1987回 | 6/16(金), 17(土) 指揮:ジャンンドレア・ソセダ ショスタコーヴィチ/交響曲 第8番

リニューアル!Cプログラム | ■全公演「休憩のない60~80分程度の公演」に | ■料金をよりリーズナブルに | ■「開演前の室内楽」開催

特別公演

Music Tomorrow 2023

6/27(火) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

指揮:ライアン・ウィグリスワース 尺八:藤原道山 ヴァイオリン:金川真弓、三味線:本條秀慈郎 藤倉 大/尺八協奏曲 一柳 慧/ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲 スルンカ/スーパーオーガニズム[世界初演]

Follow us on



nhkso.or.jp



やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません。

藝大フィルハーモニア管弦楽団

問合せ 050-5525-2300



藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

- ◆ベートーヴェン:12のコントルダンス Wo0 14
◆ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.61
◆ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調「運命」op.67

2023.4.20(木)

開演 19:00 全席指定 4,000円 (当日券販売なし)

会場 東京藝術大学奏楽堂

その他詳細はこちら -> https://www.geidaiphil.geidai.ac.jp/



コンサートマスター: 植村 太郎 (指揮者なし) ヴァイオリン独奏: 漆原 朝子

2023/2024シーズン定期演奏会、チケット好評販売中!

https://www.njp.or.jp

第649回定期演奏会

2023/5/13 (土) 14:00 すみだトリフォニーホール
2023/5/15 (月) 19:00 サントリーホール

指揮: 沼尻竜典 ヴァイオリン: ユーハン・ダーレネ
ソプラノ: 砂川涼子 メゾ・ソプラノ: 山際きみ佳 テノール: 清水徹太郎
シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 op. 47
メンデルスゾーン: 交響曲第2番 変ロ長調 op. 52 「讃歌」



すみだクラシックへの扉 第15回

2023/6/9 (金)・6/10 (土) 両日 14:00
すみだトリフォニーホール

指揮: デリック・イノウエ カウンターテナー: 藤木大地
メンデルスゾーン: 劇音楽「夏の夜の夢」序曲 op.21
モーツァルト: 交響曲第36番 ハ長調 K.425「リンツ」
パッヘルベル: カノンとジーグ ニ長調
ヘンデル: 歌劇「セルセ」HWV40より
「オンブラ・マイ・フ(なつかしい木陰)」
ヘンデル: 歌劇「リナルド」HWV7より「涙の流れるままに」
モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」K.492より序曲I
「恋とはどんなものかしら」
モーツァルト: 歌劇「ポントの王ミトリダテ」K.87より
「執念深い父がやってきて」
モーツァルト: モテット「アヴェ・ヴェルム・コルプス」K.618
グルック: 歌劇「オルフェオとエウリディーチェ」より
「精霊の踊り」「エウリディーチェを失って」



東京交響楽団

問合せ 044-520-1511

東京オペラシティシリーズ第133回 6月3日(土) 14:00 東京オペラシティ コンサートホール

指揮: 井上道義 チェロ: 上野通明
武満徹: 3つの映画音楽より第1曲 映画「ホゼー・トレス」から「訓練と休息の音楽」、
第3曲 映画「他人の顔」から「ワルツ」
井上道義: 交響詩「鏡の眼」
エルガー: チェロ協奏曲 ホ短調 op.85
エルガー: 南国にて op.50

S¥7,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000



第711回 定期演奏会 6月24日(土) 18:00 サントリーホール

川崎定期演奏会 第91回 6月25日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: ミケーレ・マリオッティ ピアノ: 萩原麻未
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467
シューベルト:
交響曲 第8番 ハ長調 D944「ザ・グレイト」

[6/24] S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000
P¥2,500
[6/25] S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000
P¥2,500



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 03-5624-4002

定期会員券・シーズンセット券・1公演券発売中!

定期演奏会 会場: 東京オペラシティ コンサートホール

第360回
2023年5月10日(水) 19時開演
【指揮】高関 健(常任指揮者)
【ヴァイオリン】山根 一仁
プリテン: シンフォニア・ダ・レクイエム 作品20
ベルク: ヴァイオリン協奏曲
オネゲル: 交響曲第3番「典礼風」



第361回
2023年6月9日(金) 19時開演
【指揮】藤岡 幸夫(首席客演指揮者)
【ピアノ】務川 慧悟
シベリウス: 悲しきワルツ 作品44
グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 作品16
吉松隆: 交響曲第3番 作品75



第362回
2023年7月7日(金) 19時開演
【指揮】秋山 和慶
リヤードフ: 交響詩「キキーモラ」作品63
スクリャーピン:
交響曲第4番 作品54「法悦の詩」



ティアラこうとう定期演奏会
会場: ティアラこうとう 大ホール

第73回
2023年4月15日(土) 15時開演
【指揮】高関 健(常任指揮者)
【ヴァイオリン】MINAMI(吉田 南)
メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」作品26
ブラームス: ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77
シューベルト: 交響曲第6番 ハ長調 D.589



チケット料金 S席¥6,000 A席¥5,000 B席¥4,000 C席¥3,000 (座席指定・税込) U20 ¥1,000 (座席指定不可・税込)
U30 ¥2,000 (座席指定不可・税込) プラチナ S席¥4,500 プラチナ A席¥3,500 (60歳以上・税込)

S席¥3,500 A席¥3,000 B席¥2,500 (座席指定・税込)
U20 ¥1,000 U30 ¥1,500 (座席指定不可・税込)

千葉交響楽団

問合せ 043-222-4231

第113回定期演奏会 2023年5月27日(土) 14時開演
あふれる才気を楽しむ 市川市文化会館



J.C. バッハ/シンフォニア変ロ長調作品18-2(歌劇「ルーチョ・シルラ」序曲)
モーツァルト/ホルン協奏曲第3番変ホ長調 K.447
ベルリオーズ/幻想交響曲作品14
指揮: 山下 一史(音楽監督) ナチュラルホルン: 大森啓史(千葉交響楽団ホルン奏者)

入場料・全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円





都響スペシャル
プロムナードコンサートNo.403
 指揮/アラン・ギルバート(首席客演指揮者)
 ピアノ/キリル・ゲルシュタイン
 ニールセン: 序曲《ヘリオス》op.17
 ニールセン: 交響曲第5番 op.50
 ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番 二短調 op.30

7月14日(金)19:00開演 **サントリーホール**
 7月15日(土)14:00開演 **サントリーホール**

S席¥7,000 A席¥6,000
 B席¥5,000 P席¥3,500
 シルバーエイジ(65歳以上) S席~B席2割引、
 U-25(25歳以下) S席~B席5割引



第979回定期演奏会 Aシリーズ
都響スペシャル
 指揮/アラン・ギルバート(首席客演指揮者)
 ホルン/シュテファン・ドール
 ウェーベルン: 夏風の中で一大管弦楽のための牧歌
 モーツァルト: ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 K.495
 R.シュトラウス: アルプス交響曲 op.64

7月19日(水)19:00開演 **東京文化会館**
 7月20日(木)19:00開演 **東京文化会館**

S席¥7,500 A席¥6,500 B席¥5,500
 C席¥4,500 Ex席¥3,200
 シルバーエイジ(65歳以上) S席~C席2割引、
 U-25(25歳以下) S席~C席5割引



お問合せ 都響ガイド 0570-056-057(平日10:00~18:00) <https://www.tmso.or.jp/>

2023シーズン定期演奏会

チケット定価(税込・全席指定) SS席¥15,000 S席¥10,000 A席¥8,500 B席¥7,000 C席¥5,500

東京フィルチケットサービス 03-5353-9522 (10~18時・チケット発売日を除く土日祝休) 東京フィル WEB チケットサービス www.tpo.or.jp/

5月定期演奏会

発売中

10日(水)19:00開演 **サントリーホール**
 12日(金)19:00開演 **東京オペラシティ コンサートホール**
 14日(日)15:00開演 **Bunkamura オーチャードホール**
 指揮: ミハイル・プレトニョフ(特別客演指揮者)
 ラフマニノフ/ 幻想曲『岩』
 ラフマニノフ/ 交響詩『死の島』
 ラフマニノフ/ 交響的舞曲 (ラフマニノフ生誕150年)



6月定期演奏会

4/25発売

23日(金)19:00開演 **東京オペラシティ コンサートホール**
 25日(日)15:00開演 **Bunkamura オーチャードホール**
 27日(火)19:00開演 **サントリーホール**
 指揮: 尾高忠明(桂冠指揮者)
 ピアノ: 亀井聖矢*
 (2022年ロン＝ティボロー国際音楽コンクール優勝)
 尾高惇忠/ オークストラのための『イマージュ』
 ラフマニノフ/ ピアノ協奏曲第2番*
 ラフマニノフ/ 交響曲第1番 (ラフマニノフ生誕150年)



7月定期演奏会

4/25発売

23日(日)15:00開演 **Bunkamura オーチャードホール**
 27日(木)19:00開演 **東京オペラシティ コンサートホール**
 31日(月)19:00開演 **サントリーホール**
 指揮: チョン・ミョンファン(名誉音楽監督)
 オテロ: グレゴリー・クンデ
 デズデーモナ: 小林厚子
 イアーゴ: ダリボール・イエニス(ほか)
 ヴェルディ/ 歌劇『オテロ』
 (オペラ演奏会形式)



第750回東京定期演奏会

2023年5月12日(金)19:00開演 **サントリーホール**
 2023年5月13日(土)14:00開演 **サントリーホール**

カーチュンと世界各地の音楽的アイデンティティを探る旅

指揮: カーチュン・ウォン[首席客演指揮者]
 チェロ: 佐藤晴真
 ミヤスコフスキー:
 交響曲第21番《交響幻想曲》
 嬰へ短調 op.11
 芥川也寸志:
 チェロとオーケストラのための
 《コンチェルト・オスティナート》
 ヤナーチェク: シンフォニエッタ
 S¥8,000 A¥6,500 B¥6,000 C完売
 P¥4,000 Ys¥1,500



第387回横浜定期演奏会

2023年5月20日(土)17:00開演 **横浜みなとみらいホール**

第400回名曲コンサート

2023年5月21日(日)14:00開演 **サントリーホール**

ピエタリ・インキネン首席指揮者ファイナル

指揮: ピエタリ・インキネン[首席指揮者]
 ソプラノ: 森谷真理 アルト: 池田香織
 テノール: 宮里直樹 バリトン: 大西宇宙
 合唱: 東京音楽大学
 【ベートーヴェン・ツィクルス Vol.6】
 シベリウス: 交響詩《タピオラ》op.112
 ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》二短調 op.125
 S¥9,000 A¥7,500 B¥7,000 C¥6,000 P合唱団席
 Ys¥3,500 Gs席¥6,000(5/21のみ)



[お問合せ・お申込み] 日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日11時~17時) 日本フィルeチケット <https://eticket.japanphil.or.jp>

第118回定期演奏会

5月27日(土)14:00
 静岡市清水文化会館マリナート
 5月28日(日)14:00
 アクトシティ浜松

【指揮】キンボー・イシイ【ピアノ】小山 実稚恵
 ベートーヴェン/ 序曲「コリオラン」op.62
 ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37
 ブラームス/ 交響曲 第3番 へ長調 op.90



第119回定期演奏会

6月24日(土)14:00
 静岡市清水文化会館マリナート
 6月25日(日)14:00
 アクトシティ浜松

【指揮】高関 健(首席指揮者)
 【ヴァイオリン】三浦 文彰
 エルガー/ ヴァイオリン協奏曲 口短調 op.61
 シベリウス/ 交響曲 第5番 変ホ長調 op.82



第120回定期演奏会

7月15日(土)14:00
 静岡市清水文化会館マリナート
 7月16日(日)14:00
 アクトシティ浜松

【指揮】太田 弦【チェロ】鳥羽 咲音
 ハチャトゥリアン/ 組曲「仮面舞踏会」
 ショスタコーヴィチ/ チェロ協奏曲 第1番
 変ホ長調 op.107



[各公演 前売券] 全席指定/A席4,500円 B席3,500円 B席学生1,500円 ※当日500円増(B席学生は除く)

ドヴォルザーク/ 交響曲 第7番 二短調 op.70

第1回名曲シリーズ

2023年4月15日(土)
開演14:00 (13:00開場)
東京芸術劇場 コンサートホール
指揮:太田 弦 フルート:上野星矢
モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
モーツァルト:フルート協奏曲第1番
ト長調 K. 313
ベートーヴェン:交響曲第7番 イ長調 作品 92
S:5,000円 A:4,000円 B:3,000円



第156回定期演奏会

2023年5月27日(土)
開演14:00 (13:00開場)
東京芸術劇場 コンサートホール
指揮:外山雄三
シューベルト:交響曲第5番 変ロ長調
シューベルト:交響曲第9番 ハ長調
「ザ・グレート」
S:7,000円 A:5,500円
B:4,500円 C:3,500円



第157回定期演奏会

2023年6月11日(日)
開演14:00 (13:00開場)
サントリーホール
指揮:飯森範親 ピアノ:角野隼斗
合同演奏:日本センチュリー交響楽団
J.アダムズ:
Must the Devil Have All the Good Tunes?
R. シュトラウス:アルプス交響曲 作品 64
S:8,000円 A:6,500円
B:5,000円 C:4,000円



第1回東京オペラシティ定期演奏会

2023年7月2日(日)
開演14:00 (13:00開場)
東京オペラシティ コンサートホール
指揮:尾高忠明
ヴォーン・ウィリアムズ:トマス・クリスの主題による幻想曲
ディーリアス:歌劇「村のロメオとジュリエット」より
「楽園への道」
エルガー:交響曲第1番 変イ長調 作品 55
S:7,000円 A:5,500円 B:4,500円



パシフィックフィルハーモニア東京チケットデスク

03-6206-7356
(平日10時~18時)

公式 HP



WEB 予約



読売日本交響楽団

問合せ 0570-00-4390

沖澤のどかがワーグナーと R. シュトラウスを
並べ、気宇壮大なスケールの音楽を奏でる!

俊英・三浦文彰がエルガーのロマンティックな大作に
熱い思いを込め、あふれ出る音楽性を発揮!

第257回土曜マチネーシリーズ

5月13日(土) 14:00開演 東京芸術劇場

第257回日曜マチネーシリーズ

5月14日(日) 14:00開演 東京芸術劇場

【指揮】沖澤のどか 【ヴァイオリン】三浦文彰
エルガー:ヴァイオリン協奏曲
ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」前奏曲
R. シュトラウス:交響詩「死と変容」

【チケット料金】S ¥8,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,500

【お問合せ・お申し込み】読売チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時) <https://yomikyo.or.jp/>



鬼才・上岡敏之がニールセンの交響曲第5番を振り
美と芸術の更なる深みへと誘う!

80歳の巨匠ヴァルサーゼがシューマンで味わい深い至芸を披露

第628回定期演奏会

5月31日(水) 19:00開演
サントリーホール

【指揮】上岡敏之
【ピアノ】エリソ・ヴィルサーゼ
シベリウス:交響詩「エン・サガ」
シューマン:ピアノ協奏曲
ニールセン:交響曲第5番

【チケット料金】S ¥8,000 A ¥7,000
B ¥6,000 C ¥4,500



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 045-226-5107

みなとみらいシリーズ 定期演奏会第386回

2023年5月13日(土) 14:00
横浜みなとみらいホール

大植英次(指揮)
中川優芽花(ピアノ)
ラヴェル/ピアノ協奏曲
ベルリオーズ/幻想交響曲

ほか



【チケット料金】
S席 7,000円 A席 5,000円 B席 3,500円

神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10時~18時) <https://www.kanaphil.or.jp>

音楽堂シリーズ第26回「Classic Modern」

2023年5月27日(土) 15:00
神奈川県立音楽堂

杉山洋一(指揮)
MINAMI(吉田 南)(ヴァイオリン)
リゲティ/ヴァイオリン協奏曲
シューベルト/交響曲第4番「悲劇的」

ほか



【チケット料金】
S席 4,500円 A席 3,500円

中部フィルハーモニー交響楽団

問合せ 0568-43-4333

第86回定期演奏会 北欧シリーズVol.1

2023年5月27日(土) 開演15:00
三井住友海上しらかわホール

指揮/秋山和慶
フルート/上野星矢
シベリウス:組曲「カレリア」
ニールセン:フルート協奏曲
シベリウス:交響曲第1番



第87回定期演奏会 ブルックナーのロマン

2023年6月3日(土) 開演15:00
小牧市市民会館

指揮/飯森範親
ピアノ/牛田智大
モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番
ブルックナー:
交響曲第4番「ロマンティック」



第88回定期演奏会 北欧シリーズVol.2

2023年7月15日(土) 開演15:00
三井住友海上しらかわホール

指揮/秋山和慶
ヴァイオリン/北川千紗
スヴェンセン:ノルウェー狂詩曲第3番
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲
シベリウス:交響曲第3番



チケットお取扱い・お問合せ 中部フィルハーモニー交響楽団 Tel 0568-43-4333 <https://chubu-phil.com>

第467回定期公演

4月21日(金) 19:00 開演
石川県立音楽堂 コンサートホール
指揮: ジャン=クロード・カサドシュ
ピアノ: トーマス・エンコ
ラモー / 六重奏用に編曲された6つのコンセルより めんどり (弦楽合奏版)
モーツァルト / ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調
ラヴェル / 亡き王女のためのパヴァーヌ
ベートーヴェン / 交響曲 第1番 ハ長調
SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円 スターライト席 1,000円



第468回定期公演

5月27日(土) 14:00 開演
石川県立音楽堂 コンサートホール
指揮: 松井慶太
トランペット: ラインホルト・フリードリッヒ
ピアノ: 岡田奏
松村禎三 / ゲツセマネの夜に (2002年 OEK 委嘱作品)
M.ハイドン / トランペット協奏曲 第1番 ニ長調
ショスタコヴィチ / ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調
ハイドン / 交響曲 第98番 変ロ長調
SS席 6,000円 S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円 スターライト席 1,000円



第469回定期公演

7月1日(土) 14:00 開演
石川県立音楽堂 コンサートホール
指揮: ライアン・ウィグルワース
ヴァイオリン: ランドル・グーズビー
プルッフ / ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調
ベートーヴェン / 交響曲 第6番 ヘ長調「田園」
SS席 6,000円 S席 5,000円
A席 4,000円 B席 3,000円
スターライト席 1,000円



第470回定期公演

7月13日(木) 19:00 開演
石川県立音楽堂 コンサートホール
指揮: マルク・ルロワ=カラタユー
ピアノ: 辻井伸行
モーツァルト / 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
シューマン / ピアノ協奏曲 イ短調
ベートーヴェン / 交響曲 第5番 ハ短調「運命」
SS席 7,000円 S席 6,000円
A席 5,000円 B席 3,000円
スターライト席 1,500円



https://www.oek.jp

セントラル愛知交響楽団

Wコンチェルト2023 松田華音Vol.1

4月5日(水) 17:45開場 / 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール
指揮 / 齊藤一郎 (首席客演指揮者)
ピアノ / 松田華音
【ピアノソロ】 チャイコフスキー:
《18の小品》作品72より 第2番〈子守歌〉、第3番〈穏やかなおしかり〉、第8番〈対話〉
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第3番
チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番



超!有名曲シリーズVol.3 「イタリア」

4月21日(金) 17:45開場 / 18:45開演
愛知県芸術劇場コンサートホール
指揮 / 松尾葉子 (特別客演指揮者)
オルガン / 吉田文
レスピーギ:
ローマ3部作〈噴水、松、祭り〉
【オルガンソロ】
マルコ・エンリコ・ボッシ:
「聖別の時」「喜びの時」



定期演奏会

第196回 5月13日(土)
指揮 / 角田鋼亮 (常任指揮者)
ヴァイオリン / 島田真千子
チェロ / 石川祐支
プログラム: 春の牧歌
プログラム: ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲 イ短調 Op.102
プログラム: 交響曲 第1番 ハ短調 Op.68



13:45開場 / 14:30開演 三井住友海上しらかわホール

第197回 6月24日(土)
指揮 / 大友直人
プログラム:
ハイドンの主題による変奏曲 Op.56a
メンデルスゾーン:
組曲「夏の夜の夢」
プログラム: 交響曲 第2番 ニ長調 Op.73



第198回 7月9日(日)
指揮 / 角田鋼亮 (常任指揮者)
ピアノ / 小山実稚恵
ドビュッシー:
牧神の午後への前奏曲
プログラム:
ピアノ協奏曲 第1番
二短調 Op.15
ドヴォルザーク:
交響曲 第6番 ニ長調 Op.60



S席 5,000円 (ペア券 7,000円) A席 4,000円 (ペア券 5,600円) B席 3,000円 C席 2,000円 U25席 1,000円 ※ペア席は前売のみ、数量限定、位置指定あり。未就学児入場不可
【主催・お問い合わせ】セントラル愛知交響楽団 ☎052-581-3851 http://www.caso.jp/ ※U25席は座席指定不可、公演日に25歳以下対象、要身分証明書、当回事務局のみの取扱い

名古屋フィルハーモニー交響楽団

名フィル 定期演奏会「継承」シリーズ 会場: 愛知県芸術劇場コンサートホール 開演: [金] 18:45 [土] 16:00

第512回定期演奏会 (継承されざる個性)

2023年5月12日(金) / 13日(土)
井上道義 (指揮) 服部百音 (ヴァイオリン) *
バルトーク: ルーマニア舞曲 Sz.47a, BB 61
バルトーク: ヴァイオリン協奏曲 第2番 Sz.112, BB 117*
クセナキス: ノモス・ガンマ
ラヴェル: ボレロ



【チケット料金】 S席: ¥6,400 A席: ¥5,200 B席: ¥4,200 C席: ¥3,200 D席 ¥2,200

第513回定期演奏会 (教会音楽の継承と超越)

2023年6月9日(金) / 10日(土)
鈴木秀美 (指揮)
中江早希 (ソプラノ) 布施奈緒子 (メゾ・ソプラノ)
櫻田 亮 (テノール) 氷見健一郎 (バス)
岡崎混声合唱団、愛知県立岡崎高等学校コーラス部(合唱)
ベートーヴェン: ミサ・ソレムニス ニ長調 作品123



【チケット料金】 S席: ¥7,400 A席: ¥6,400 B席: ¥5,200 C席: ¥4,200 D席 ¥3,200

第514回定期演奏会 (スペイン・ギターへの継承)

2023年7月7日(金) / 8日(土)
ジェフリー・バターソン (指揮) カニサレス (ギター) *
ラヴェル: スペイン狂詩曲
カニサレス: 地中海協奏曲-ホアキン・ロドリゴに捧げる [日本初演]*
ラフマニノフ: 交響曲 第3番 イ短調 作品44



【チケット料金】 S席: ¥6,400 A席: ¥5,200 B席: ¥4,200 C席: ¥3,200 D席 ¥2,200

お問い合わせ: 名フィル・チケットガイド Tel. 052-339-5666 (9:00 ~ 17:30 / 土日祝休) www.nagoya-phil.or.jp

京都フィルハーモニー室内合奏団

第253回定期公演A 「ヘンデルワールド」

2023年4月22日(土) 14:00開演
京都コンサートホール小ホール
指揮: 有田正広
ヘンデル: 水上の音楽 (全曲)



第254回定期公演B (室内楽シリーズVol.16) 「J.S.バッハ〜珠玉の作品」

2023年5月26日(金) 18:30開演 京都文化博物館
2つのヴァイオリンと通奏低音のためのトリオ ソナタ ハ長調 BWV1037
ヴァイオリン協奏曲 ホ長調 BWV1042
オーボエ協奏曲 ト短調 BWV1056
管弦楽組曲 第2番 口短調 BWV1067

第255回定期公演A「草原の響き」

2023年6月17日(土) 14:00開演
京都コンサートホール小ホール
指揮: 大山平一郎
ヴァイオリン: 石上真由子
ワーグナー/ジークフリート牧歌
ヴォーン=ウィリアムズ/あげびり
ドヴォルザーク/弦楽セレナード



入場料 (前売・税込) [第253回・第255回] 全席指定: S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円 ユース席(25歳以下)1,000円 ※全公演ユース席は要証明書。当日券 500円増 未就学児のご入場不可。 [第254回] 一般2,000円 (お茶菓子付) ユース(25歳以下)1,000円

共に響き合う、京響 City of Kyoto Symphony Orchestra

会場:京都コンサートホール・大ホール

〈沖澤のどか 常任指揮者就任披露演奏会〉

第677回定期演奏会

第14代常任指揮者の誕生！
記念すべき2023シーズンの開幕です！

2023年4/14(金) 19:30開演
フライデー・ナイト・スペシャル

4/15(土) 14:30開演

指揮:沖澤のどか(常任指揮者)

4/14(金)公演(フライデー・ナイト・スペシャル)(休憩なし約1時間プログラム)

モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲

メンデルスゾーン:序曲「ルイ・プラス」作品95

メンデルスゾーン:交響曲第4番イ長調 作品90「イタリア」

4/15(土)公演

メンデルスゾーン:序曲「ルイ・プラス」作品95

メンデルスゾーン:交響曲第4番イ長調 作品90「イタリア」

ブラームス:交響曲第3番ヘ長調 作品90



第678回定期演奏会

愛、光、声と色彩。
井上道義が京響を聴かせる、見せる、聴らせる。

2023年5/20(土) 14:30開演

指揮:井上道義 合唱:京響コーラス(女声)◆

ラヴェル:「ダフニスとクロエ」組曲 第2番

ドビュッシー:夜想曲◆

武満徹:地平線のドーリア

ドビュッシー:交響詩「海」



■入場料

4/14(金)公演
(フライデー・ナイト・スペシャル)
S:4,000円 A:3,500円 B:3,000円
C:2,000円 P:1,500円
4/15(土)・5/20(土)公演
S:5,500円 A:5,000円 B:4,000円
C:3,000円 P:2,000円
※5/20公演ではP席の販売はありません。

■チケットご予約

京都コンサートホール・チケットカウンター
TEL(075)711-3231

24時間オンラインチケット購入
https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/

■京都市交響楽団
オフィシャル・ホームページ



フェニーチェ堺 名曲シリーズVol.1



2023年6/24(土) 14:00開演

フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)

指揮:山下一史(常任指揮者) ヴァイオリン:南紫音

サン＝サーンス:ヴァイオリン協奏曲 第3番 口短調 作品61

ベルリオーズ:幻想交響曲 作品14

料金/S席3,300円、A席2,800円、学生席1,000円(税込)

未就学児の入場はご遠慮ください。

主催/公益社団法人大阪交響楽団、フェニーチェ堺

特別協賛/日本ノボパン工業株式会社



チケット・問い合わせ 大阪交響楽団チケットセンター TEL.072-226-5522(平日10時~17時)

第567回定期演奏会

2023年4月21日(金) 19:00開演

22日(土) 15:00開演

指揮:尾高忠明

独唱:田崎尚美(S)、池田香織(A)、宮里直樹(T)、平野和(B)

合唱:大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指導:福島章恭)

ヴェルディ/レクイエム



第568回定期演奏会

2023年5月19日(金) 19:00開演

20日(土) 15:00開演

指揮:アンガス・ウェブスター

ピアノ:小林海都

ブラームス/悲劇的序曲 作品81

ショパン/

ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21

チャイコフスキー/

交響曲 第6番 口短調 作品74「悲愴」



会場:フェスティバルホール A席:6,300円 B席:5,300円 C席:4,200円 BOX席:7,400円 学生席:1,000円

第62回定期演奏会

2023年6月24日(土) 17:00開演 会場:ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮:粟辻 聡

ブラームス/交響曲 第4番 ホ短調 作品98

ウェーバー/「魔弾の射手」序曲

管弦楽曲、大学院生または卒業生の独奏による協奏曲(曲目未定)

※都合により曲目を変更する可能性があります。

チケット販売開始:4月24日(月)

入場料:全自由席 3,500円(税込)

*別途、電子チケットの発券手数料2%がかかります。

*高校生以下の方は無料招待いたします。

*未就学のお子さまのご入場は

お断りさせていただきます。



指揮:粟辻 聡

チケットに関するお問い合わせ先 大阪音楽大学 コンサート・センター 06-6334-2242

第338回定期演奏会 会場：ザ・シンフォニーホール

2023年6月16日(金) 19:00 開演 (18:00 開場)

大地を揺るがす音の宇宙…現世に問う音楽のカオス

指揮：原田 慶太楼 ヴァイオリン：服部 百音

ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲

ファジル・サイ：ヴァイオリン協奏曲「ハーレムの千一夜」

吉松 隆：交響曲第3番 作品75

※出演者、曲目、曲順など、内容が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

6,500円(S) 5,000円(A) 3,500円(B) 2,500円(C) 1,000円(学生/25歳以下)

協賛：阪急電鉄株式会社 特別協賛：ダイキン工業株式会社



指揮：原田 慶太楼 © SHIN YAMAGISHI



ヴァイオリン：服部 百音 © CHIHOKO ISHII

日本センチュリー交響楽団

問合せ 06-6848-3311

定期演奏会

会場：ザ・シンフォニーホール

センチュリー豊中
名曲シリーズVol.26

第272回 2023年4月20日(木) 19:00開演 (18:00開場)

名匠・秋山と気鋭ピアニストによる古典の嗜み
指揮：秋山 和慶 ピアノ：高木 竜馬
モーツァルト：
ピアノ協奏曲 第9番 変ホ長調
K.271「ジュノム」
ベートーヴェン(近衛秀磨 編曲)：
交響曲 第3番 変ホ長調 作品55「英雄」



A: 6,500円 B: 5,000円 C: 3,500円 D: 1,500円

第273回 2023年5月26日(金) 19:00開演 (18:00開場)

新星・出口が誘うロマンティックプログラム
指揮：出口 大地 ピアノ：務川 慧悟
イベール：ディヴェルティメント
プロコフィエフ：
ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品16
ドヴォルザーク：
交響曲 第6番 ニ長調 作品60 B.112



A: 6,500円 B: 5,000円 C: 3,500円 D: 1,500円

第274回 2023年6月10日(土) 14:00開演 (13:00開場)

合同演奏で創り出す圧巻のステージ
指揮：飯森 範親 ピアノ：角野 隼斗
合同演奏：パシフィックフィルハーモニア東京
アダムズ：
Must the Devil Have All the Good Tunes?
R. シュトラウス：アルプス交響曲 作品64



A: 6,500円 B: 5,000円 C: 3,500円 D: 1,500円

2023年6月17日(土) 15:00開演 (14:15開場)

物語×音楽で紡ぎだす新世界
指揮：太田 弦 ギター：朴 葵姫
坂東 祐大：ギター協奏曲 (仮題/新曲委嘱)
ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調
作品95「新世界より」



S: 4,500円 A: 3,500円 B: 2,500円

ご予約・お問合せ/センチュリーチケットサービス TEL 06-6848-3311(平日10:00~18:00) https://www.century-orchestra.jp/ticket/

兵庫芸術文化センター管弦楽団

問合せ 0798-68-0203

特別演奏会

3歳から楽しめるファミリー・コンサート
PAC 子どものためのオーケストラ・コンサート

2023年4月22日(土) 14:00開演
指揮：お話/岩村力(PACレジデント・コンダクター)
ゲスト：とってんたん 歌・進行：田中めぐみ
Official 巖男dism: ミックスナッツ
(TVアニメ「SPY×FAMILY」第1クールオープニング主題歌)
ヴァイヴァルディ：「四季」より「春」第1楽章
とってんたん：ほんわかゆげゆげ



おとな(中学生以上) 2,000円
子ども(3歳~小学生) 1,000円(全席指定/税込)

第141回定期演奏会

気高く勇壮なイギリス音楽の世界
下野竜也 ザ・ブリティッシュ!
2023年5月26日(金)・27日(土)・28日(日)
各日 15:00開演

指揮/下野竜也 ヴァイオリン/三浦文彰
ウォルトン：「スピットファイア」前奏曲とフーガ
エルガー：ヴァイオリン協奏曲 ト短調 op.61
エルガー：エニゲマ変奏曲 op.36



A 4,000円 B 3,000円 / C 2,000円 D 1,000円(全席指定/税込)

第142回定期演奏会

ダンスと音楽で織りなす、燃え上がる舞台
井上道義 最後の火の鳥
2023年6月16日(金)・17日(土)・18日(日)
各日 15:00開演

指揮/井上道義 舞踊/森山開次、本島美和(ほか)
<オール・ストラヴィンスキー・プログラム>
ディヴェルティメント(バレエ音楽「妖精の口づけ」による)
バレエ音楽「火の鳥」(1910年原典版)



A 4,000円 B 3,000円 / C 2,000円 D 1,000円(全席指定/税込)

会場：兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール 【お問合せ先・チケットご予約】芸術文化センターチケットオフィス TEL 0798-68-0255

テレマン室内オーケストラ

問合せ 06-6345-1046

協会創立 60 周年事業 第 296 回・第 297 回定期演奏会
オール・テレマン・プログラム

演目 G.Ph. テレマン：3つのトランペットとティンパニのための協奏曲 ほか
出演 指揮：延原武春 ヴァイオリン：U. ブンディース コレギウム・ムジクム・テレマン

●大阪公演 2023年4月18日(金) 18時30分開演
会場 大阪市中央公会堂中集会室 料金 ¥5,000(当日共)

●東京公演 2023年4月20日(木) 18時30分開演
会場 東京文化会館小ホール 料金 ¥4,000(当日共)



パワハからベートーヴェンまで
日本テレマン協会
since1963



関西フィルハーモニー管弦楽団 / 日本センチュリー交響楽団 / 兵庫芸術文化センター管弦楽団 / テレマン室内オーケストラ

第431回 定期演奏会

創立60周年記念プレミアム定期(1)

2023年5/18(木) 18:45 開演

広島文化学園 HBG ホール

指揮/下野竜也
ヴァイオリン/五嶋みどり

～五嶋みどり デビュー 40周年記念～
チャイコフスキー:

ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 35

ブルクナー:交響曲第1番ハ短調
WAB 101 (リッツ稿)

チケット料金 S:8,000円 A:7,000円
B:6,000円 (学生:1,500円)



第432回定期演奏会

広島公演

2023年6/9(金) 18:45 開演

広島文化学園 HBG ホール

チケット料金 S:5,300円 A:4,800円
B:4,300円 (学生:1,500円)

広島創立60周年記念 大阪公演

2023年6/11(日) 14:00 開演

ザ・シンフォニーホール

チケット料金 全席指定 5,000円

ヴァイオリン&コンサートマスター/ Folk-Halt・シュティデ

ブラームス:ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 77

ベートーヴェン:交響曲第7番イ長調作品 92



<http://hirokyo.or.jp/>

広島交響楽団 / アマービレフィルハーモニー管弦楽団 / 奈良フィルハーモニー管弦楽団 / 岡山フィルハーモニック管弦楽団 / 瀬戸フィルハーモニー交響楽団

アマービレフィルハーモニー管弦楽団

問合せ 072-648-5874

あなたの街「茨本市」のオーケストラ
アマービレフィルハーモニー管弦楽団
第13回定期演奏会
2023年4月16日(日)
開場 13:00 開演 14:00
茨本市市民総合センター(クリエイティブセンター) センターホール
マリンバ協奏曲「アオバトの森」作品216(世界初演) / 近藤浩平
交響曲第35番ニ長調「ハフナー」K.385 / モーツァルト
組曲「アルチネルラ」 / ストラヴィンスキー

Conductor 松岡 究

チケットぴあPコード 228-563
【主催・お問合せ】 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団
Tel: 072-648-5874 / E-Mail: contact@amabile-philharmonic.com

奈良フィルハーモニー管弦楽団

問合せ 0743-57-2235

ムジークフェストなら2023 奈良フィルコンサート
県民と歌うベートーヴェン第九
2023年5月19日(金) 18:00開演(開場17:30)
DMGMORIやまと郡山城ホール

ソリスト/S.大原 末子 A.西村 規子 T.竹田 昌弘 B.大谷 圭介
曲目 交響曲第25番短調K.183/W.A.モーツァルト
交響曲第9番ニ長調作品125「合唱付き」/L.ベートーヴェン
合唱/ムジークフェストなら合唱団 指揮/延原 武春

《問合せ・チケット取扱い》奈良フィル事務局/0743-57-2235 やまと郡山城ホール/0743-54-8000 前売り/1,000円 当日/1,500円

岡山フィルハーモニック管弦楽団

問合せ 086-234-7177

第76回定期演奏会・津山定期演奏会

5月20日(土) 14:00 岡山シンフォニーホール

5月21日(日) 15:00 津山文化センター

指揮/秋山 和慶

ベートーヴェン/交響曲 第6番「田園」
ベートーヴェン/交響曲 第5番「運命」



S 5,500円 A 4,400円 B 3,300円 B1-ス 1,000円 *Bコースは19歳以下および25歳以下の学生対象です。
チケットの問合せ: 岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL086-234-2010・ <http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/okaphil/>

第77回定期演奏会

7月23日(日) 14:00 岡山シンフォニーホール

指揮/デリック・イノウエ

ピアノ/松本 和将

リムスキー=ニコルサコフ/スペイン奇想曲
ラフマニノフ/バガニーニの主題による狂詩曲
チャイコフスキー/交響曲 第4番 へ短調



瀬戸フィルハーモニー交響楽団

問合せ 087-822-5540

SETO PHILHARMONIC ORCHESTRA
第39回定期演奏会
2023 10/15(日)
14:00開演 レクザムホール大ホール

指揮:大友直人
ピアノ:第5回高松国際ピアノコンクール優勝者
ムソルグスキー 組曲『展覧会の絵』

*詳細はホームページをご覧ください。 <http://setophil.or.jp/>

第413回定期演奏会

2023年6月23日(金)午後7時開演

アクロス福岡シンフォニーホール

指揮：リオ・クオクマン ヴァイオリン：神尾 真由子
 アダムス/ショート・ライド・イン・ア・ファスト・マシ
 ンバー/ヴァイオリン協奏曲 作品14
 コーブランド/交響曲 第3番

S席：5,700円、A席：4,700円、B席：3,600円、
 学生：1,500円 車椅子席(限定4席)：3,600円

※学生料金でのお求めは、B席のみ対象となります



© Makoto Kamiya

ライブ配信 【視聴料金】 ¥2,000

クラシック専門ストリーミングサービス CURTAIN CALL にてライブ配信
 いたします。※ライブ配信終了後に期間限定でアーカイブの配信を予定しております。

チケットお問い合わせ：九響チケットサービス ☎ 092-823-0101 <http://www.kyukyo.or.jp>

長崎OMURA室内合奏団 (NOCE)

問合せ 0957-47-6537

長崎OMURA室内合奏団 定期演奏会 [チケット料金(全公演共通)] 大人 3,500円 学生 1,000円

♪第20回 長崎公演

5月18日(木)19:00開演
 長崎市民会館・文化ホール

♪第2回佐世保公演

5月19日(金)19:00開演
 アルカスSASEBO・中ホール

♪第35回大村公演

5月20日(土)14:00開演
 シーハットおおむら・さくらホール

松原勝也 (Vn)

エルガー：弦楽セレナード ホ短調 Op.20

長崎 OMURA 室内合奏団

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ト短調 Op.26

ブラームス(松原勝也編曲)：弦楽六重奏曲第2番 ト長調 Op.36(管弦楽版)



松原勝也



☆大村公演は、テレビマン
 ユニオンMember's TVU
 CHANNELにて、有料ライ
 ブ配信いたします。

問い合わせ 認定 NPO 法人長崎 OMURA 室内合奏団 TEL:0957-47-6537(平日9時~16時) Email:oce02@omurace.or.jp <http://www.omurace.or.jp>

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

開催期間
7/22(土)~
8/11(金・祝)

出演団体
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
NHK交響楽団
山形交響楽団
読売日本交響楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
日本センチュリー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
他(出演日順)

サマーミュージア
川崎が夏音に染まる21日間

お待ちどうサマー♪

フェスタサマーミュージア
KAWASAKI 2023

特設サイトは
こちら

チケットのお申込み・お問合せ
TEL 044-520-0200 (10:00~18:00)

主催：川崎市、ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援：川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ

指揮者の情報

仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者に太田 弦さんが就任

仙台フィルハーモニー管弦楽団は2023年シーズンより指揮者に太田 弦さんが就任することを発表した。現指揮者である角田鋼亮さんは任期満了のに伴い2022シーズンをもって退任する。2023シーズンからは常任指揮者の高関健さんと2人体制となる。



2024年より広島交響楽団の音楽監督にクリスティアン・アルミンクさんが就任

広島交響楽団は2024年4月より新たな音楽監督として現首席客演指揮者のクリスティアン・アルミンクさんが就任することを発表した。現音楽総監督下野竜也さんとの契約は2024年3月までとなる。

2024年より九州交響楽団の首席指揮者に太田 弦さんが就任

九州交響楽団は2024年4月より新たに太田弦さんが首席指揮者に就任することを発表した。現音楽監督の小泉和裕さんは2024年3月をもって退任する。

コンサートマスターなどの情報

パシフィックフィルハーモニア東京が新体制を発表

パシフィックフィルハーモニア東京は2023年4月より、特別コンサートマスターに現ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のコンサートマスターを務めるヘンリック・ホッホシルトさんを、特別ソロ・コンサートマスターに高木凜々子さんを招くことを発表した。コンサートマスターは執行恒宏さんを加えて3人体制となる。またコンポーザー・イン・レジデンスに西村 朗さんが就任する。同時に新楽団長に二宮光由さんが就任する。

NHK 交響楽団のコンサートマスター体制

これまでコンサートマスターを務めてきた篠崎史紀さんは2023年1月をもって退任し、2023年4月、新たに「特別コンサートマスター」に就任する。また現在ゲスト・アシスタント・コンサートマスターを務める郷古 廉さんは2023年4月より「ゲスト・コンサートマスター」に就任する。

名古屋フィルの新たなコンサートマスターに森岡 聡さんが就任

2023年4月より、名古屋フィルハーモニー交響楽団の新たなコンサートマスターに森岡 聡さんがコンサートマスターに就任する。また山本友重さん（東京都交響楽団コンサートマスター）が特別客演コンサートマスターに就任する。

表彰・受賞の情報

令和4年度文化庁長官表彰に元OEK・GMの山田正幸さん、ピアニストの上原彩子さん

令和4年度の文化庁長官表彰に、元オーケストラ・アンサンブル金沢ゼネラルマネージャーの山田正幸さんが、「永年にわたり、オーケストラの運営に携わり、活動の充実や地域への普及に努めるとともに、音楽祭のプロデューサーとしてその発展に尽くすなど、我が国の芸術文化の振興に貢献している」として文化庁長官表彰を受賞した。また演奏家からは、2002年のチャイコフスキー国際コンクールでピアノ部門で初の日本人受賞者でとなったピアニストの上原彩子さんが受賞した。

第70回尾高賞に藤倉 大さんと故 一柳 慧さん

NHK交響楽団は第70回尾高賞に藤倉 大さん作曲の「尺八協奏曲(2021)」(国立ブルターニュ管弦楽団委嘱作品)と昨秋亡くなられた一柳 慧さんの「ヴァイオリンと三味線のための二重協奏曲(2021)」が受賞したことを発表した。藤倉さんは4回目の受賞、一柳さんは6回目の受賞。受賞作品は6月27日(火)東京オペラシティコンサートホールで開催される「Music Tomorrow 2023」で演奏される。

訃報

公益社団法人山形交響楽協会（山形交響楽団）会長の三井嬉子さん

公益社団法人山形交響楽協会（山形交響楽団）会長の三井嬉さんが2022年11月23日に亡くなった。享年83。

札幌交響楽団のステージマネージャーの田中正樹さん

札幌交響楽団のステージマネージャーの田中正樹さんが2月3日に亡くなった。享年57。

作曲家の松平頼暁さん

作曲家であり、生物物理学者でもある松平頼暁さんが1月9日、肺炎のため亡くなった。享年91。「マリンバとオーケストラのための『オシレーション』」で第28回尾高賞受賞している。

【賛助会員】

●法人会員

オリックスグループ
NPO 音楽は平和を運ぶ
キックマン株式会社
コクヨ株式会社
株式会社 資生堂
公益財団法人日本製鉄文化財団
株式会社日本旅行
一般財団法人ヤマハ音楽振興会
ライオン株式会社
公益財団法人ローム ミュージック ファン
デーション

(五十音順)

*連盟の活動をご理解いただき支援して下さる法人あるいは個人の方へ賛助会員へのご入会をお願いします。

【加盟38団体】

〈正会員〉

札幌交響楽団
仙台フィルハーモニー管弦楽団
山形交響楽団
群馬交響楽団
NHK交響楽団
新日本フィルハーモニー交響楽団
東京交響楽団
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
東京都交響楽団
東京フィルハーモニー交響楽団
日本フィルハーモニー交響楽団
パシフィックフィルハーモニア東京
読売日本交響楽団
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
オーケストラ・アンサンブル金沢
セントラル愛知交響楽団
名古屋フィルハーモニー交響楽団
京都市交響楽団
大阪交響楽団
大阪フィルハーモニー交響楽団
関西フィルハーモニー管弦楽団
日本センチュリー交響楽団
兵庫芸術文化センター管弦楽団
広島交響楽団
九州交響楽団

〈準会員〉

千葉交響楽団
藝大フィルハーモニア管弦楽団
東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
富士山静岡交響楽団
中部フィルハーモニー交響楽団
京都フィルハーモニー室内合奏団
アマビレフィルハーモニー管弦楽団
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
テレマン室内オーケストラ
奈良フィルハーモニー管弦楽団
岡山フィルハーモニック管弦楽団
瀬戸フィルハーモニー交響楽団
長崎 OMURA 室内合奏団



本誌は、環境に配慮して FSC® 森林認証紙 (ECFパルプ) を使用しています。



日本オーケストラ連盟ニュース第110号 2023年3月31日発行

発行所 ● 公益社団法人 日本オーケストラ連盟

編集・発行人 桑原 浩 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル棟7F

Tel: 03-5610-7275 <http://www.orchestra.or.jp/>

印刷 ● 錦明印刷株式会社 制作 ● 音楽編集者倶楽部「カノン」/ 林僚子